

1.3.1.1-20

「座る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

<1> 「座る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現(P2)

<2> 「座る」の尊敬語表現 (P3)

<3> 「座る」の謙讓語表現 (P4)

<4> 「座る」の丁寧語表現 (P5)

<5> 「座る」の会話とメールでの使い方と参考出典情報 (P6)

資料作成: 日本語ナレッジ推進委員会第2組より作成します。

・作成メンバー: 崔湘寧、唐名澤、李重陽、宋雪明、楊顏華

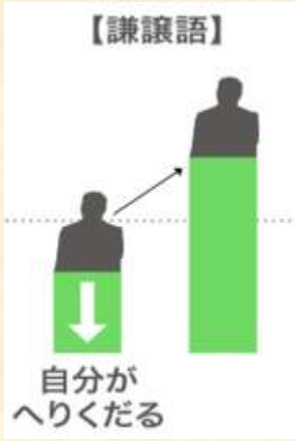
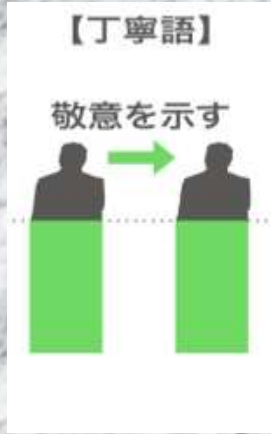
・一次レビュー者: 崔湘寧

最終レビュー・補記訂正者: 久世さん

1.3.1.1-20「座る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



「座る」の尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現

基本形	尊敬語	謙讓語	丁寧語
座る	おかけになる	座らせていただく	座います
敬意を表す方向			
使用方法	相手の動作や状態に使う。 相手や相手の動作、状態などを直接的に高める。	自分の動作・状態に使うもの。 自分がへりくだり、それにより間接的に相手を高める言い方です。	聞き手に対して丁寧に述べる言葉。 「です」「ます」をつけて使う。 相手・内容を問わない。



1.3.1.1-20「座る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「座る」の尊敬語表現：「おかけになる」

◇「おかけになる」

目上の人の動作を表す表現です。このように尊敬語を使って行為を表すことで、その相手が自分よりも目上であることを表します。したがって、「おかけになる」の主語は常に自分より目上の相手や、持ち上げたい相手であり、自分や身内を主語にすることはありません。

※相手に着座を促す際、「お掛けになってください」だと少し「回りくどく」感じるので、少しシンプルに「こちらにおかけください」ということの方が多いです。

※「お座りになる」や「座られる」はあまり使わない方が良いでしょう。なぜなら

- ・「お座り」は文法として間違っているわけではありませんが、「お座り」という言葉はよく犬のしつけに使われるフレーズであるため、言われた側はあまり良い気分になりません。
- ・「座れる」は「受け身」表現であると勘違いされやすいです。

目上の方への敬意を表現するのが尊敬語ですから、そうしたら敬意がはっきりと相手に伝わる方が良いでしょう。しかし、「座られる」ではそれが少し分かりづらくなってしまいます。上記のことを考えると、最も正しい使い方は「おかけになる」になります。

参考：https://townwork.net/magazine/knowhow/manners/baito_manners/13309/

「座る」尊敬語の使用例

- ・先生が椅子におかけになる。
- ・どうぞ、こちらにお掛けください。
- ・こちらにお掛けになってお待ちいただけますか



1.3.1.1-20「座る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

👉 「座る」謙讓語表現：「座らせていただく」

◇「座らせていただく」

「座らせていただく」という言葉と似ている点に注意する必要があります。
「～させていただく」は謙讓語として正しいのですが、「座る」の場合はそのまま「させていただく」とつけるのではなく、「**座らせていただく**」とするのが正しい表現になります。

※「**お座りする**」はあまり使われない言葉です。

「お座りする」は文法的には間違っていないのですが、「お～する」という謙讓語は自分的動作が相手に影響しない場合には使われることはありません。ですから、自分が座ることで相手に影響を与えることはあまりありませんので、使われにくい謙讓ということになります。

参考：<https://tap-biz.jp/business/honorific/1039319>

「座る」の謙讓語使用例

- 私の弟はその椅子に座らせていただいた。
- 私はその椅子に座らせていただいた。



1.3.1.1-20「座る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「座る」の丁寧語表現：「座ります」

◇「座ります」

「座る」の丁寧語で最もよく使うのは「座ります」という言葉です。常日頃から使われている表現ですので、使いなれている方も多いです。「座る」丁寧にする場合は「「ます」を語尾につけます。

参考リンク：<https://biz.trans-suite.jp/18628>

「座ります」の使用例

- 私は椅子に座ります。
- 先生が椅子に座ります。



1.3.1.1-20「座る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い



会話とメールでの使い方

◇会話での使い方

「座る」の敬語を会話で使う場合、常に相手がいることが想定されますので、失礼なことをしないように正しい敬語を使うことを意識してください。

主語が目上の人の場合、基本的には尊敬語が使われます。「座る」の場合でしたら「おかけになる」という尊敬語が正しい敬語です。

主語が自分もしくは身内の場合、謙讓語が使われるので、「座らせていただく」という表現になります。特にかしこまった場ではなく、少し丁寧な表現を使いたいだけの場合は「座ります」という丁寧語を使うのも良いです。

◇メールでの使い方

メールの文章は会話文以上に、同じ言い回しが何度も出てくると、読みにくくなってしまうことが多いです。ですから「～させていただく」などの表現が繰り返してでてしまうようであれば、同じ意味の別な言い回しの敬語を使い、繰り返しを避けるようにしてください。



参考出典情報

<1> 「座る」の敬語表現・座るの使い方と例文・別の敬語表現例

<https://tap-biz.jp/business/honorific/1039319>

